

授業計画（シラバス）

教育内容	専門分野 基礎看護学				
科目名	基礎看護学方法論 I	対象学年	1年 前期		
単位（時間数）	2単位（30時間）	講義時間	28時間	試験時間	2時間
講師名	基幹教員	実務経験	臨床看護師		
学習目標	看護の問題解決能力を育成するために理論的な知識を用いて、看護過程の展開技術を習得する				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1	1. 看護過程とは 2. 看護過程を展開する際に基盤となる考え方 問題解決過程、クリティカルシンキング	講義	教科書 P272～
2	3. 看護過程の各段階 1) 全体像モデル この人がどのような状態で生きている人間であるかを描き、対象を一人の人間として丸ごと見つめる。 2) 立体像モデル	講義 ワーク	薄井式を基にしたモデル使用
3	3) アセスメント 事実・資料・情報 情報収集とアセスメント ①事実の情報化 *看護の視点の活用 ②情報のアセスメント	講義 ワーク	教科書 P292～305
4	③日常生活アセスメントモデル *発達段階に応じた一般的な日常生活力との比較 ④生命力アセスメントモデル *生命力の巾、看護の力を注ぐ方向性 ⑤構造図とは、構造図の書き方	講義 ワーク	薄井式を基にしたモデル使用 構造図
5	⑥構造図作成	講義 ワーク	構造図
6	4) 看護問題の明確化 問題の種類、表記方法、優先順位	講義 ワーク	教科書 P305～
7・8	5) 看護計画立案 期待される成果の明確化（看護目標） *看護の方向性を上位・中位・下位目標で具体化する 6) 実施、記録、評価 SOAP について	講義 ワーク	教科書 P314～318 P318～321 P327

授業計画（シラバス）

9～12	4. 事例展開 (メディアイ：模擬患者の電子カルテ使用) 事例を通し看護過程の展開をする ・アセスメント ・看護問題の明確化 ・計画立案	グループ ワーク	Medi-EYE (電子カルテ)
13	5. リフレクション プロセスレコードの書き方		教科書 P288～
14	*看護過程のまとめ		
15	終講試験		
教科書	基礎看護技術 I (医学書院)		
参考図書	科学的看護論 (日本看護協会出版会)、ナースが視る病気 (講談社)		
評価方法	終講試験、グループワーク参加態度、出席状況などを総合評価 「何がなぜ看護の情報なのか」レポート提出・・・期限 夏季休暇明け		